

発行所

公益社団法人
全日本仏教婦人連盟
〒151-0051 東京都渋谷区
千駄ヶ谷4-5-10-205
TEL 03-5772-0677
FAX 03-6434-0184
URL http://jbwf.jp

沙羅の樹

Saranoki

No.22

2025 年秋号

10 月 10 日発行

石巻
渡波小学校
放課後児童
クラブ

夏祭り

Summre Festival



← 当連盟からの支援品



みんな
うちわ作り



全日仏婦は東北支援活動
を十年以上にわたり石巻市
を中心に継続してまいりま
したが、一応の成果とコロ
ナ禍の影響によりしばらく
ご無沙汰をしておりました。
しかしこの度全青協石巻様
からの御要望を頂き、支援
活動の一環として『渡波夏
祭り』を協働開催すること
になりました。

（小学生2名を含む）で訪問
致しました。
当日ご尽力頂いた方々は
全国青少年教化協議会 神
仁代表執行理事、浄土宗雲
上寺住職東海林良昌師他2
名、全青協石巻の中里憲次
指導員とそのご家族、そし
て仏婦8名。
渡波小学校の放課後児童
を対象に40名程の参加と聞
いていたところ、実際には
保護者も加わり100名近
くになって賑やかな夏祭り
となりました。神先生自ら

のゴム風船作り、浄土宗の
青年会によるお数珠作り、
全日仏婦からうちわとクレ
ヨンを寄付してうちわにお
絵かきをしてもらいました。
おやつには中里指導員のご
家族が用意したチーズフォ
ンデュ、ポップコーン、か
き氷それぞれに行列が出来
るほどの人気でした。その
後のお楽しみは校庭でのス
イカ割り、真夏の太陽の下
で周りの応援を受けて子ど
もたちは真剣にスイカに立
ち向かっていました。

最後には全員参加のじゃ
んけん大会、東京土産やこ
の祭りのために用意された
景品などが並び、大人も子
どもたちも歓声を挙げなが
ら楽しんでくれたのが
印象的でした。

後日、全青協の中里さん
よりお礼状と共に渡波夏祭
りの参加者アンケートの報
告が送られてきました。子
どもたちはとても良かった、
良かったが全体の70%も
ありました。保護者の方々
からのアンケートの中で、
子供達が笑顔で楽しんでい

私たちの 活動報告

各事業にご賛助及び
ご協力をいただき、
ありがとうございます。

9 月 20 日現在（順不同・敬称略）

▼新入会員紹介

賛助会員 （公財）全国青少年教化協議会
願随寺（真宗佛光寺派）

勝楽寺（浄土真宗東本願寺派）

壽本寺（浄土真宗東本願寺派）

廣善寺（浄土真宗東本願寺派）

須藤石材株式会社

正会員 三井若子 長沢尉誉 草野 薫

國友法子 城真由美 前川葉子

作田令子（以上 浄土真宗東本願寺派）

武田京子 鈴木良江

▼指定寄付金にご協力の方

祐天寺

▼ご芳志をいただきました方々

念法真教 長岡道子 日比野郁皓 天王寺

▼賛助金にご協力の方々

真言宗智山派 大本山善光寺大本願

大本山成田山新勝寺 総本山四天王寺

総本山西教寺

別格本山高幡不動尊金剛寺 築地本願寺

願随寺 勝楽寺 壽本寺 廣善寺

真如苑 （公財）全国青少年教化協議会

（公財）仏教伝道協会

（一社）日本仏教鑑仰会

須藤石材株式会社

▼社会福祉基金にご協力の方々

本多端子 桶屋良法 末廣久美

村山廣甫 二上寛弘 秋山孝雄

7月

10 日 「全佛婦」141号発行

29 日 第2回運営委員会（上野精養軒）

8月

2 日 念法真教立教百周年報恩大法要・祝賀会
（大阪総本山金剛寺・リーガロイヤルホテル）

4 日 比叡山宗教サミット38周年「世界平和祈りの集い」

13 日 編集会議（樞寺）

9月

3 日 念法真教桶屋燈主・一宮教務総長来訪（事務局）

5・6 日 第47回全日本仏教徒会議大阪大会（ホテル日航大阪）

17 日 全日本仏教尼僧法団結成75周年記念祝典（東京會館）

29 日 第49回正力松太郎賞授賞式（東京グランドホテル）



写経に添えた手紙を ご紹介します

仙台に戻りましてから早五年が過
ぎました。震災と同時に東京での生
活忘れられずです。御縁があって天
王寺に何度もお邪魔いたし文化講座
に参加させて頂きました。そして励
みになり元気を頂戴いたしました。
御礼申し上げます。

沙羅の樹（NO.21春号）お送り下
さり有りありがとうございました。写経
は続けております。朝晩の読経欠か
さず供養しており七十七才の一人生
活、元気でいられることに感謝して
おります。全日仏婦の活動、御発展
祈念しております。（H・T）

お知らせ（今後の予定）

☑ 第135回文化講座

日 時：10月7日（火）14時～

会 場：天王寺

演 題：お寺での介護者カフェの取り組み

講 師：東海林良昌師（浄土宗雲上寺住職）

参加費：1000円

☑ 第72回全日本仏教婦人連盟大会

日 時：10月21日（火）11時～

会 場：東京プリンスホテル2階

「サンフラワーホール」

清 興：フルート演奏 松井くるみ氏

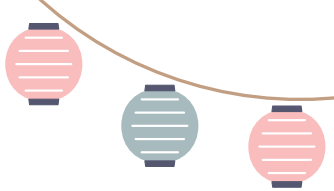
ヴァイオリン演奏 手島 玲氏

☑ 第37回成道会の集い

日 時：12月12日（金）13時～

会 場：有楽町朝日ホール

詳細が決まり次第ご案内します



たので良かった。児童クラブの様子も近くで見ることが出来て良かった。主催の方々やスタッフ、他の保護者や子供達と交流が出来て楽しかった。等々沢山ありましたが個々に紹介できないのが残念です。

石巻市渡波の皆様から来年もお願いしますと声をかけられて会場を後にしました。（遠賀令子）



参加した親御さんからは、「主催者の方やスタッフ、他の保護者や子どもたちと交流ができて楽しかったです」「子どもにとって夏休み最初の良い思い出ができたようです」「屋内だったため、熱中症の心配もなく小さい子ども連れでも楽しむことができました」といった声が聞かれました。



私たちスタッフも、酷暑の中で久しぶりの夏祭り開催に、少々不安な気持ちもありましたが、子どもたちの笑顔を間近にすると、いつものことながら沢山のエネルギーをもらうことができました。仏教でいうところの、目には見えない布施の循環がそこには生まれているのでしょうか。

一方で、児童クラブの責任者の女性からは、「今日是不登校の子どもたちも参加してくれてびっくりしました。震災後の離婚が増えており子どもたちも心理的に不安定な様子です。シングルマザーの家庭では、仕事にも恵まれず経済的にも厳しい状況が続いています」との言葉も聞かれました。



震災から15年近くなる今でも、未曾有の被災による爪痕は、多くの方々の心身に確実に残っています。5年、10年と時を経る中で、現地で活動する支援団体の姿を見ることは、ほとんど無くなってしまいました。

被災地の方々は、「早く復興を遂げ自立しなければ」という思いと同時に、「自分たちが忘れ去られてしまう」という不安感と共に日々生活を送っています。震災を直接に経験した子どもたちが時を経て父母の立場になっていく中で、このころの傷トラウマを次世代に引き継ぐことのない環境作りをサポートしていく必要性も、私たちには求められているのでしょうか。

ご報告

念法眞教立教百年祭 行事に参加して

この度、念法眞教様の6月24日～27日の日程での第14回サイパン戦没殉難者慰霊法要に東伏見具子会長はじめ本多理事長と事務局にて参加させていただきました。

この慰霊法要は、2007年から現地にて世界平和を願って厳修されております。25日ラストコマンドポストの「中部太平洋戦没者の碑」の清掃、島内の慰霊巡拝をいたしました。

翌日は慰霊祈念植樹式、スーサイドクリフに向かった法要、そして大勢の方々が自決された島北端のバンザイクリフでは教団様建立の慰霊塔前で法要をと、戦後80年の節目に参列できました事、大変貴重な経験となりました。



バンザイクリフ



（バンザイと叫んで崖（クリフ）から飛び降り自決、故にバンザイクリフと呼ばれています。）

また、8月2日は大阪総本山金剛寺にて立教百周年報恩大法要並びに祝賀会に当連盟から11名が出席させていただきました。祈願本堂での大法要後、桶屋燈主様が現世界極楽浄土建設を目指してこれから二百年、三百年と続けなければとのおあいさつをされました。迎えて下さった信徒さんたちのおもてなしと笑顔が素晴らしかったです。感謝申し上げます。（事務局）

第47回 全日本仏教徒会議 大阪大会

「全日本仏教徒会議大阪大会」が9月5・6日にホテル日航大阪を会場に開催され、全日本仏教婦人連盟から東伏見具子会長をはじめ五人で出席しました。

「無量の『いのち』へすべてのいのちを慈しむ」を



大会のテーマに、国内外から多くの仏教徒が集い盛大に行われました。

全日本仏教会会長の伊藤唯眞浄土門主を導師に記念法要・世界平和祈願法要が厳修され「平和に武器は不要であり、争いの根源は人間の愚かさにある。共に平和を願いその実現に向けた歩みを進めましょう」と挨拶されました。

初日は、「未来社会における宗教の役割」をテーマに諸宗教対話フォーラムが開かれ、仏教・キリスト教・イスラム教・神道の宗教者がそれぞれの立場から語り合いました。

宗教者と暴力について「一人一人は無力だが非戦、非暴力への働きは止めてはならない」と言われた言葉は心に残りました。

二日目は、大阪・関西万博のテーマ事業プロデューサーらを含む四人によるシンポジウムが大会のテーマ「無量の『いのち』へすべてのいのちを慈しむ」にそって語り合われました。生命

全日本 仏教尼僧法団 結成75周年 記念祝典

9月17日 東京會館に於いて『全日本仏教尼僧法団結成75周年記念祝典』が執り行われました。

第一部では、結成75周年慶祝・世界平和

祈願法要団員・賛助団員物語者追善供養 自然災害犠牲物故者追悼供養法要

第二部は『全佛婦』に連載していただいている青山俊董老師による「明日の世界を救う仏教」―われらにかに生きるべきか―と題し記念法話がなされました。

「仏教に出会った喜びと、生かされている命のありがたさ、また真理に気づき自己の方向をさだめさせていただと、それが利他行に続くことの重要性、延いては仏法が明日の世界を救う。」とやさしく明確にお説き下さいました。第三部祝宴まで荘厳かつ盛大な祝典でした。全日本仏教婦人連盟からも役員8名が参加させていただきました。全日本仏教尼僧法団様は敗戦から5年後には「尼僧として宗派の壁を超え、手を取りあつて立ち上がる」という高邁な目的を掲げ結成されたと聞いております。

以降当連盟も一條智光台下、鷹司誓玉台



下など共通の役員に就任いただき格別のご指導と、強い連帯意識を築きあげてまいりました。特に当連盟の毎年の修正会、大会等には尼僧法団様の御僧侶に法要をお勤めいただいております。笹川悦導理事長様御導師の下、式衆の御僧侶の皆様清らかで澄んだご声明が心に染み渡り、またその勤行の後に、笹川理事長様より賜るご法話は慈愛にみちて、私共の心に響き洗心の思いしきりでございます。今後とも尼僧法団様と共に歩み仏教興隆に尽くしたく存じます。



（本多端子）